

研究No. (記載不要)	— —
-----------------	-----

平成 25 年度配分 研究成果発表報告書(実績)

研究名	ピアノ工房『大橋ピアノ研究所』アーカイブ作成のための調査研究				
配分を受けた特別研究費	特別研究費				1,920 千円
研究者氏名 (代表者)	学部名	学科名	職	氏 名	共同研究者
	文化政策	文化政策	学部長	根本 敏行	他 6 名
発表の方法	1 紀 要 名 称:  ※ 他の調査結果(産業遺産研究会)とあわせて、平成 28 年度紀要に論文掲載予定		号 数	第 号 ( 頁～ 頁) ( 年 月発行)	
	2 学会等での発表 学会等名:		発表日	平成 年 月 日	
	3 その他 発表の方法: (1) 本学 文化芸術セミナー『楽器の事典』 (2) 産業遺産研究会報告 (3) イダニャ・ア・ノーヴァ創造都市国際会議		発表日	(1) 平成 26 年 6 月 6 日～ 平成 26 年 12 月 17 日 (2) 平成 26 年 12 月 20 日 (3) 平成 27 年 2 月 27 日	

- 学会等での発表及びその他の場合は、学会報等発表を証する資料を添付すること。
- 配分を受けた翌年度の 3 月末までに提出

(研究の目的等)

浜松市博物館に寄贈され、そのまま未整理で収蔵されている大橋ピアノ研究所の収蔵資料をもとに、都市の産業遺産としての資料整理の手法などを研究する

(研究の実施方法等)

- ・ 博物館収蔵品のアーカイブについての基礎的研究(文献調査主体)
- ・ 産業分野(ものづくり)分野におけるアーカイブの手法についての研究(浜松市立博物館、浜松市楽器博物館、竹中大工道具館、松本ピアノ・オルガン保存会でのヒアリング)
- ・ 大橋ピアノ研究所関連の収蔵品の一部について、写真資料等の作成

(得られた成果等)

- (1) 博物館におけるアーカイブの発達と現状を歴史的経緯から振り返り、特に今日のデジタル・アーカイブと学芸員制度との関連について
- (2) 博物館のアーカイブの種類について概観するとともに、産業分野の博物館における分類手法や台帳の作成手法についての研究
- (3) 資料分類法の目録記載事項についての考察: 以上の調査結果を踏まえ、博物館資料分類の意義や現状、分類作業についての考察と、具体的な資料目録の意義、分類目録法、目録記載事項とその飼料代長、目録についての考察
- (4) ピアノの製造、構造と資材と製造に関わる工具等の調査: ピアノ製造に特化した資材、工程、工具類、とりわけ治具についての調査と考察
- (5) 同工具等の分類票案について: 上記について、具体的なアーカイブ台帳として整理するための試案など
- (6) ピアノ工房のアーカイブかにおける資料分類の提案と課題